ベーシック・ルール　難易度★★☆☆

プレイ人数　2～4人　プレイ時間5～10分

【ゲーム開始前の準備】

使用しないLaboカードリスト

・実験台の整頓	2枚	・分液ロート	2枚
・実験ノート	1枚	・蒸留	1枚
・原料の回収と利用	1枚	・薬品の購入	1枚

以上のLaboカードは箱にしまう

1. 分子カード、Laboカードをシャッフルして、それぞれの山札をつくる。
2. 各プレイヤーは**分子カードの山札から7枚**、**Laboカードの山札から3枚**とり、手札とする。

【バトルについて】

- 分子量(molecular weight)が大きいカードが勝つ。
- Laboカード：エバポレーターを使用した場合は、沸点(boiling point)が高い分子カードが勝つ。

【勝敗について】

バトルを繰り返し、倒された分子カードの**炭素数合計が 10 以上**になったプレイヤーを**負けとする**。

もしくは分子カードがなくなった時点で、倒された分子カードの炭素数合計が大きいプレイヤーを負けとする。

— 化学で遊び、楽しく学ぶ —

ChemiStrategy

©Chemi-Shiru

【ゲームの流れ】

1. バトルで使用する分子カードを手札から選び、裏向きにして机に置く。
2. バトルでLaboカードを使用する場合は、Laboカードを裏向きにして置く。Laboカードを使用しない場合は、置かなくてもよい。
3. 「セット」を宣言したのちは、カードの変更は認めない。「分子名」またLaboカードを使用した場合は「反応名」を発声しながらカードを表向きにする。
4. 倒されたカードは、表向きにして置く。
5. 使用したカード、引き分けたカードは裏向きして置く。
6. 1に戻り、分子カードがなくなるか、勝敗が決まるまでバトルを続ける。

【シンプル・ベーシック・アドバンス共通のルール】

化学反応で分子量を増やす（Laboカードの使用例）

- 1枚の分子カードとLaboカードを使用することで分子量を増やす。

例1　Laboカード：硝酸(ニトロ化)

アルコール**もしくは**ベンゼンのカードとLaboカード【硝酸】を使用する（ニトロ化させる）ことで、**分子量を＋45**とする。

反応に必要な分子 or

ベンゼン（分子量：78）→ ニトロベンゼン（分子量：78＋45＝123

- 2枚の分子カードとLaboカードを使用することで、分子量を増やす。

例2　Laboカード：硫酸（エステル化）

アルコールとカルボン酸の**2枚の分子カードと共にLaboカード【硫酸】を使用**する（エステル化させる）ことで、2枚のカードの**分子量の和－18**とする。

反応に必要な分子 and

メタノール（分子量：32）＋酢酸（分子量：60）

→酢酸メチル（分子量：32＋60 -18＝74）